

「赤磐市障害者自立支援協議会（ピーチネットあかいわ）」とは？

赤磐市に住んでいるすべての障がいのある人が幸せに暮らしていくために、当事者やその家族、支援者、行政など、さまざまな関係者が集まり、話し合い、行動していく協議会です。



ピーチくん



令和元年度の活動報告

★くらす部会

カフェを含めた、4回の部会を開きました。「親が元気な間にできること」を柱に、どんなことを知りたいか、何を学びたいかなど意見を出してもらいました。その中から、今年度は福祉サービスについて理解を深め、情報を参加者で共有しました。また防災についても再確認をしました。くらす部会が参加者の皆さんにとっての居場所となるよう、工夫しながら、楽しい部会を心がけました。



★そだつ部会

相談支援ファイルについて、話し合うことで、相談支援ファイルの活用必要性を皆で認識し確認しました。第2回、第3回目は、東備支援学校の教諭をお招きして、ペアレント・トレーニングの技法を用いて、子どもとの関わり上手になる方法や環境の整え方、実際に学校で使われている支援ツールを手にとって見ながら、和やかな雰囲気の中、学習しました。



★はたらく部会

第2回福祉就労フェアが、7月6日(土)に開催されました。たくさんの地域の方々に参加していただき、とても活気のあるフェアになりました。地元の子どもたちも多く訪れていて、早い時期から事業所の方と触れ合えるよい機会になったという感想もいただきました。



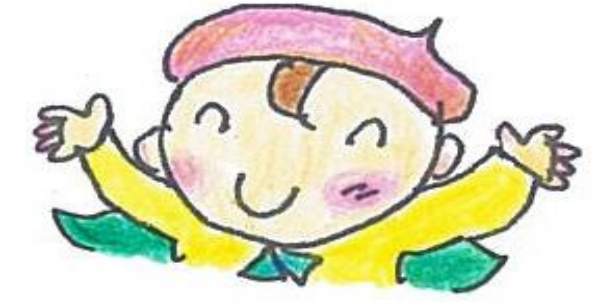
★まちづくり部会

令和元年度には3回の部会を開催し、その中で昨年度から続けて検討してきた余暇に関するアンケートの実施に向けて話し合いを重ねました。10月には市内の各事業所を対象に余暇活動のアンケートを実施し、9割以上の方から回答をいただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。アンケートの結果から、余暇に関する実態や、ご意見、地域で生活する上での課題なども垣間見ることができ、「障害があっても安心して暮らしていけるまちづくり」に向けた今後の部会活動に活かしていこうと思います。



★権利擁護ワーキング

令和元年12月18日(水)に赤磐市中央図書館にて加藤貴之氏(かとう社会福祉士事務所)をお迎えして「利用者にとっての成年後見制度とは」と題した研修会を開催しました。内容は、意思決定支援など本人に寄り添った支援についての話や、グループワークを行いました。今年度も、障害者の権利擁護に関する勉強会等を企画したいと考えています。



ピーチくんの豆知識（相談支援専門員）

★相談支援専門員とは

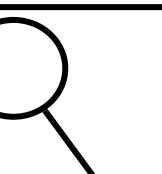
子どもを療育に通わせたい、家で介護を受けたい(居宅介護)、日中外に出て働きたい・活動したい(日中型サービス支援)、入所支援施設やグループホームなどを利用したいなど、思いがあってもうまく福祉サービスの利用の仕方がわからない時などに相談に応じるのが相談支援専門員です。お近くの相談支援事業所や赤磐市「りんくステーション」には、相談支援専門員というサービス等利用計画を作成する専門のスタッフが常駐しています。現在の生活の困りごと相談や必要な情報・サービスを提供し、障害のある人が自立した日常生活を送ることができるよう支援を行います。また、障害福祉サービス事業所との間に入り、サービス利用の調整係としての役割もあります。利用者の人と一緒に生活を考えるのが相談員の役割です。



令和2年度 全体会・研修会について

検索

ピーチネットあかいわ



毎年5～6月に開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体会の開催は中止とさせていただくことになりました。研修会につきましては、新型コロナウイルスへの対応動向を踏まえ、今後開催の是非について検討していきたいと考えております。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解と、ご協力をお願いいたします。

消毒液の作り方

ドアノブや照明スイッチなどの消毒



嘔吐物やふん便の処理



※漂白剤は次亜塩素酸ナトリウム濃度約5%で計算。濃度は商品によって異なるので確認が必要

(3月6日・8日付山陽新聞朝刊掲載)



今後の活動についてはHPで確認をお願いします。



【通信に関するお問い合わせ先】
●赤磐市障害者自立支援協議会事務局
赤磐市 社会福祉課 福祉推進班
●連絡先
086-955-1115
www.city.akaiwa.lg.jp

